高齢者へのごみ出し支援実施は

会派を構成しない議員
澤田扶美子

問　行政手続のデジタル化は、コロナ禍で関心が高まった今が取り組みを進める好機。市はこれまで人事課でＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）業務を試行実施しているが、実施状況および今後の全庁的な展開は。国の動きを注視し他市に後れをとらぬよう対応を。

答　非常勤職員の通勤費算定データ入力にＲＰＡ（定型業務を自動化）を導入している。また３年度の非常勤職員任用データ入力にも活用し、効果を分析する予定。人が担うべき業務には職員のマンパワーを集中させるが、ＩＴの導入により自動化・省力化できるものは横展開し、デジタル化を進めていきたい。

問　後期高齢者に対するごみ出し支援策について、過日の決算特別委員会で進展が見られた。新規施策として実施する考えは。

答　団塊の世代がすべて後期高齢者になる令和７年を見据え、制度の在り方を検討し、庁内の廃棄物処理担当課と連携して進める予定だが、直営か外部委託か、対象者の要件、具体的な支援・収集・運用体制等を慎重に検討する必要がある。また排出支援の際に安否確認の声かけをすることで、一定の見守り効果もあると考える。

市応援大使任免の基準は

会派を構成しない議員
本城　隆志

問　先般、城陽応援大使一人が、他人のマンションにある車をボコボコにしたと報道があった。インターネットでは、ほとんどがチャンピオンとしてあるべき行動ではないと投稿している。１年間の任期が切れるまでもなく、早急に本人に確認をとり、大使から退いてもらうべきでは。

答　日本ボクシングコミッションの対応も示されていない。市として事情聴取を求める権利もなく、報道範囲の情報しかない。解任基準は個別に判断するしかない。

問　市内の保育所で預かっている子どもを親や家族以外の児童相談所等へ引き渡す場合の対応は。親が安心し信頼して預けるために、必ず確認をとって引き渡す等の手続を定めたマニュアルが必要ではないか。

答　登録保護者以外は、保護者からの事前連絡や保育所から保護者への確認により引き渡しを行っている。ご指摘の場合は、法律に基づき身分証明書等で相手方の確認をするが、事案や事情により保護者への連絡・確認をしない場合もあり得る。例えば児童相談所は、引き渡しに至るまで関係機関でケアを続けている実態があり、職員の確認ができているため正当性が担保されるものと考える。

◆次期定例会日程（予定）◆

本会議（開会）	２月22日
常任委員会	２月25・26日 ３月２・３日
本会議	３月５・８・10・11日
予算特別委員会	３月15・16・17・18・22・23・25日
本会議（閉会）	３月30日

バナー広告募集中

市議会ホームページに掲載する有料広告を募集しています。

■掲載場所　市議会ホームページのトップページ右側
■掲載期間　１カ月単位
■掲 載 枠　10枠
■募集期間　随時（掲載枠まで受けつけます）
■掲 載 料　１カ月3,000円
※詳細は、市議会ホームページをごらんください。
※お問い合わせは、議会事務局（TEL56-4000）まで。